|  |
| --- |
| 平成28年度草津市のまちづくりについての市民意識調査結果報告書 |

草津市

目　次

１.調査概要 1

２.調査結果 2

（１）回答者属性 2

① 性別

② 年齢

③ 居住年数

④ 転入歴

⑤ 居住地区

（２）基本方針別にみる満足度評価 5

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

（３）基本方針別にみる重要度評価 10

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

（４）基本方針別にみる満足度と重要度 15

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

（５）まちの住み心地や日常の生活行動など 20

① まちの住み心地など

② 日常の生活行動など

③ 市民であることの誇りや定住意向

（６）草津市のイメージ 24

① 都市イメージ

② 地域資源

１.調査概要

【調査目的】

平成25年度から開始した第5次草津市総合計画第2期基本計画における、市の取組に対する市民意識を確認し、市政運営の参考とすること、また、平成29年度から開始する第3期基本計画の指標の設定にあたり、平成28年度の実績値を基準値として把握することを目的とする。

【調査対象者】

市民3,000人

【選定方法】

住民基本台帳の18歳以上の者から、年齢、居住地域の2段階による層化無作為抽出とした。

【抽出条件】

抽出基準日：平成28年11月1日（火）

【調査方法】

調査は無記名とし、平成28年12月1日（木）から12月19日（月）を調査期間として、郵送により実施した。

【回収状況】

有効回答数917件、有効回答率30.6%を得た。

|  |
| --- |
| 調査結果の表記について：百分率については、調査の有効回答数（N）を基数として算出している。小数点第2位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも100.0%にならない。また、グラフ内に示した記号のうちSAは単数回答、MAは複数回答を示す。 |

２．調査結果

（１）回答者属性

① 性別

「男性」が45.9%、「女性」が53.2%となっています。



② 年齢

「60～69歳」が最も多く21.4%、次いで「40～49歳」が18.1%、「70～79歳」が18.0%、「50～59歳」が13.1%などとなっています。



③ 居住年数

「4年以下」が最も多く11.1%、次いで「40～44年」が9.8%、「5～9年」が8.9%、「15～19年」が8.8%などとなっています。



④ 転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が22.5%、「転入してきた」が72.6%となっています。



⑤ 居住地区

「草津」が最も多く12.3%、次いで「大路」が8.7%、「玉川」が8.6%、「笠縫」が8.1%、「志津」「笠縫東」がそれぞれ8.0%などとなっています。



（２）基本方針別にみる満足度評価

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「満足」は「人権の尊重」が最も多く10.0%、次いで「学校施設の整備」が9.6%などとなっています。

「やや満足」は「学校施設の整備」が最も多く23.1%、次いで「歴史資産の保全と活用」が23.0%などとなっています。

「普通」は「男女共同参画社会の構築」が最も多く56.5%、次いで「人権の尊重」が54.5%などとなっています。

「やや不満」は「青少年の健全育成」が最も多く11.5%、次いで「市民文化の醸成」が10.1%などとなっています。

「不満」は「青少年の健全育成」が最も多く4.4%、次いで「学校教育の充実」が3.6%などとなっています。

「わからない」は「児童・生徒の支援体制の充実」が最も多く19.2%、次いで「学校施設の整備」が17.8%などとなっています。

 

|  |
| --- |
| 加重平均について：「満足（２）」「やや満足（１）」「普通（０）」「やや不満（-１）」「不満（-２）」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。 |

② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「満足」は「母子保健等の充実」が最も多く10.0%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」が8.1%などとなっています。

「やや満足」は「市民の健康づくり」が最も多く25.3%、次いで「医療保険制度の適正運用」が22.7%などとなっています。

「普通」は「暮らしの安心の確保」が最も多く59.4%、次いで「共に生きる社会の推進」が55.6%などとなっています。

「やや不満」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く14.7%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」が13.3%などとなっています。

「不満」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く5.9%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」が5.8%などとなっています。

「わからない」は「放課後児童対策の充実」が最も多く21.8%、次いで「母子保健等の充実」が18.5%などとなっています。

 

③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「満足」は「水の安定供給」が最も多く14.4%、次いで「下水道の安定基盤づくり」が9.4%などとなっています。

「やや満足」は「水の安定供給」が最も多く32.0%、次いで「下水道の安定基盤づくり」が26.4%などとなっています。

「普通」は「良好な景観の保全と創出」が最も多く60.0%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」が57.1%などとなっています。

「やや不満」は「公共交通体系の充実」が最も多く16.9%、次いで「快適な道路の整備」が16.2%などとなっています。

「不満」は「公共交通体系の充実」が最も多く10.5%、次いで「快適な道路の整備」が9.1%などとなっています。

「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く19.7%、次いで「草津川跡地の空間整備」が13.3%などとなっています。

 

④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「満足」は「観光の振興」が最も多く8.6%、次いで「中心市街地の魅力向上」が6.2%などとなっています。

「やや満足」は「観光の振興」が最も多く18.6%、次いで「中心市街地の魅力向上」が16.7%などとなっています。

「普通」は「市民自治の確立」が最も多く59.2%、次いで「勤労者福祉の増進」「基礎的コミュニティの活性化」が58.6%などとなっています。

「やや不満」は「観光の振興」が最も多く11.2%、次いで「中心市街地の魅力向上」が9.6%などとなっています。

「不満」は「中心市街地の魅力向上」が最も多く4.1%、次いで「観光の振興」が4.0%などとなっています。

「わからない」は「水産業等の振興」が最も多く27.8%、次いで「市民公益活動の促進」が23.3%などとなっています。

 

⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

「満足」は「職員力の向上」が最も多く4.8%などとなっています。

「やや満足」は「職員力の向上」が最も多く12.5%などとなっています。

「普通」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く56.8%などとなっています。

「やや不満」は「職員力の向上」が最も多く10.9%などとなっています。

「不満」は「職員力の向上」が最も多く6.5%などとなっています。

「わからない」は「健全な市政運営」が最も多く17.7%などとなっています。

 

（３）基本方針別にみる重要度評価

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「思う」は「学校教育の充実」が最も多く44.7%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」が38.4%などとなっています。

「やや思う」は「学校施設の整備」が最も多く31.4%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」が30.4%などとなっています。

「普通」は「市民文化の醸成」が最も多く44.5%、次いで「市民スポーツの推進」が44.3%などとなっています。

「あまり思わない」は「市民スポーツの推進」が最も多く7.9%、次いで「市民文化の醸成」が7.7%などとなっています。

「思わない」は「人権の尊重」が最も多く3.2%、次いで「市民スポーツの推進」が2.9%などとなっています。

「わからない」は「児童・生徒の支援体制の充実」が最も多く5.2%、次いで「男女共同参画社会の構築」が4.7%などとなっています。

 

|  |
| --- |
| 加重平均について：「思う（２）」「やや思う（１）」「普通（０）」「あまり思わない（-１）」「思わない（-２）」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。 |

② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「思う」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く46.3%、次いで「就学前教育・保育の充実」が41.4%などとなっています。

「やや思う」は「いきいきとした高齢社会の実現」が最も多く34.8%、次いで「地域ぐるみの子ども・子育て支援」が34.2%などとなっています。

「普通」は「暮らしの安心の確保」が最も多く33.8%、次いで「「地域力」のあるまちづくり」が33.5%などとなっています。

「あまり思わない」は「生活安定への支援」が最も多く5.7%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」「「地域力」のあるまちづくり」がそれぞれ3.4%などとなっています。

「思わない」は「生活安定への支援」が最も多く2.0%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」「災害に強いまちづくり」がそれぞれ1.1%などとなっています。

「わからない」は「放課後児童対策の充実」が最も多く5.5%、次いで「就学前教育・保育の充実」が4.8%などとなっています。

 

③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「思う」は「快適な道路の整備」が最も多く38.6%、次いで「水の安定供給」が35.8%などとなっています。

「やや思う」は「水の安定供給」が最も多く31.8%、次いで「資源循環型社会の構築」が31.2%などとなっています。

「普通」は「良好な景観の保全と創出」が最も多く46.9%、次いで「“まちなか”の魅力向上」が41.0%などとなっています。

「あまり思わない」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く9.2%、次いで「“まちなか”の魅力向上」が7.9%などとなっています。

「思わない」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く4.4%、次いで「“まちなか”の魅力向上」が2.7%などとなっています。

「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く9.1%、次いで「草津川跡地の空間整備」が6.2%などとなっています。



④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「思う」は「観光の振興」が最も多く21.5%、次いで「農業の振興」が20.6%などとなっています。

「やや思う」は「観光の振興」が最も多く31.4%、次いで「商業の振興」が26.4%などとなっています。

「普通」は「基礎的コミュニティの活性化」が最も多く50.1%、次いで「市民自治の確立」が49.5%などとなっています。

「あまり思わない」は「多様な交流活動の展開」が最も多く9.4%、次いで「水産業等の振興」が8.9%などとなっています。

「思わない」は「水産業等の振興」「多様な交流活動の展開」が最も多く3.9%、次いで「中心市街地の魅力向上」が3.4%などとなっています。

「わからない」は「市民公益活動の促進」が最も多く12.5%、次いで「水産業等の振興」が11.9%などとなっています。



⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

「思う」は「職員力の向上」が最も多く31.1%などとなっています。

「やや思う」は「職員力の向上」が最も多く24.9%などとなっています。

「普通」は「健全な市政運営」「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多くそれぞれ36.0%などとなっています。

「あまり思わない」は「健全な市政運営」「職員力の向上」が最も多くそれぞれ2.9%などとなっています。

「思わない」は「職員力の向上」が最も多く1.7%などとなっています。

「わからない」は「健全な市政運営」が最も多く9.1%などとなっています。

 

（４）基本方針別にみる満足度と重要度

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「人」が輝くまちをつくるための基本方針のうち、「教育・青少年」の分野は他の分野と比較し、重要度が高くなっています。

また、「青少年の健全育成」の基本方針は、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度0.13、重要度0.75）と比較して満足度が低く、重要度が高くなっています。



② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「安心」が得られるまちをつくるための基本方針は、全ての分野で重要度が高くなっています。また、防犯・防災の分野は他の分野に比べ、基本方針ごとの重要度・満足度の散らばりが大きくなっています。

また、「あんしんできる高齢期の生活への支援」「共に生きる社会の推進」「暮らしの安心の確保」「災害に強いまちづくり」「犯罪のないまちづくり」の基本方針は、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度0.13、重要度0.75）と比較して満足度が低く、重要度が高くなっています。



③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針のうち、「上下水道」の分野は満足度・重要度ともに他の分野よりも高くなっています。

一方「道路・交通」の分野は、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度0.13、重要度0.75）と比較して満足度が低く、重要度が高くなっています。



④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「活気」があふれるまちをつくるための基本方針は、どの分野においても全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度0.13、重要度0.75）と比較して満足度、重要度ともに平均値を下回るものが多くなっています。



⑤「行財政マネジメント」のための基本方針

「行財政マネジメント」のための基本方針のうち、「職員力の向上」の満足度が0を下回っています。

また、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度0.13、重要度0.75）と比較して、「行財政マネジメント」のための基本方針は、満足度が低く、重要度が高くなっています。



（５）まちの住み心地や日常の生活行動など

① まちの住み心地など

「そう思う」は「買物をする環境が整っている」が最も多く27.5%、次いで「住宅地などの住まいの環境がよい」が21.8%などとなっています。

「ややそう思う」は「住宅地などの住まいの環境がよい」が最も多く45.8%、次いで「買物をする環境が整っている」が45.0%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「男女共同参画が進んでいる」が最も多く61.9%、次いで「人権が尊重されるまちである」が55.8%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く28.1%、次いで「市民主役のまちづくりが進んでいる」が25.2%などとなっています。

「そうは思わない」は「公共交通機関の便がよい」が最も多く14.3%、次いで「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が9.7%などとなっています。

「総合的に住みやすいまちである」については、「ややそう思う」が最も多く48.2%、次いで「そう思う」が26.7%、「どちらとも言えない」が17.3%などとなっています。



【加重平均】

「総合的に住みやすいまちである」「買物をする環境が整っている」「住宅地などの住まいの環境がよい」において評価が高くなっています。

「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「市民主役のまちづくりが進んでいる」「文化芸術の振興が図れているまちである」「地域のまちづくり情報が手に入れやすい」においては評価が低くなっています。



|  |
| --- |
| 加重平均について：「そう思う（２）」「ややそう思う（１）」「どちらとも言えない（０）」「あまりそうは思わない（-１）」「そうは思わない（-２）」として全体の平均値を算出したものである。 |

② 日常の生活行動など

「そう思う」は「週に１回（30分以上）は運動をしている」が最も多く29.9%、次いで「町内会の活動に参加している」が19.7%などとなっています。

「ややそう思う」は「地元の農産物を購入するよう心がけている」が最も多く35.4%、次いで「町内会の活動に参加している」が29.2%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地球温暖化対策に取り組んでいる」が最も多く48.7%、次いで「地元の水産物を購入するよう心がけている」が43.1%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「地元の水産物を購入するよう心がけている」が最も多く21.3%、次いで「週に１回（30分以上）は運動をしている」が15.5%などとなっています。

「そうは思わない」は「週に１回（30分以上）は運動をしている」が最も多く14.7%、次いで「地域の組織やグループに加入している」が14.3%などとなっています。



③ 市民であることの誇りや定住意向

「市民であることに誇りや愛着を持っている」については、「どちらとも言えない」が最も多く35.2％、次いで「ややそう思う」が34.8％などとなっています。

「これからも草津市に住み続けたい」については、「そう思う」が最も多く38.9%、次いで「ややそう思う」が36.1%などとなっています。





（６）草津市のイメージ

① 都市イメージ

「発展する便利で都会的なまち」が最も多く21.9%、次いで「街道文化の歴史豊かな宿場のまち」が19.1%、「特にイメージするものはない」が18.8%などとなっています。



② 地域資源

「烏丸半島など琵琶湖畔」が最も多く18.0%、次いで「イナズマロックフェス」が12.1%、「草津宿本陣」が9.6%などとなっています。

